

事 務 連 絡
令和 2 年 7 月 15 日

各都道府県消防防災主管部(局) 御中

消 防 庁 救 急 企 画 室

熱中症予防対策の強化について（周知）

今般の令和 2 年 7 月豪雨によって被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

被災地においては、気象条件、生活環境等によっては熱中症にかかるリスクの増加が懸念されます。加えて、これから本格的な夏に向けて、気温が上昇していく中、全国的にも熱中症の発生が懸念されます。これまでも、消防庁では消防庁ホームページ掲載の熱中症予防啓発コンテンツ等を活用し、あらゆる機会を通じて積極的な予防啓発を行うようお願いしているところです。

こうした中、今夏は特に、社会全体として新型コロナウイルス感染症に留意した対応が必要であり、熱中症予防対策についても、換気やマスクなどの「新しい生活様式」と両立させた行動が求められています。そこで、このたび、適宜マスクを外すなどの「新しい生活様式」にも対応した熱中症予防啓発動画を、子供を中心に幅広い年齢層から親しまれている「ハローキティ」と連携して新たに作成し、消防庁ホームページや 유튜브 に公開しました。

つきましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して、「ハローキティ」と連携した熱中症予防啓発動画をはじめ、消防庁ホームページに掲載している熱中症予防啓発コンテンツ等を御活用いただき、引き続き積極的に予防啓発を行っていただきますよう周知のほどよろしく申し上げます。

熱中症予防啓発コンテンツ

URL : <https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html#heatstroke04>

（資料）

- 別添 1 報道資料（「ハローキティ」と連携した熱中症予防広報の実施）
- 別添 2 参考資料（「ハローキティ」と連携した熱中症予防の広報）
- 別添 3 「「新しい生活様式」における熱中症予防行動について（周知依頼）」
（令和 2 年 7 月 3 日付け環境省大臣官房環境保健部環境安全課事務連絡）

【問合せ先】 消防庁救急企画室
神谷課長補佐、増田係長、吉岡事務官
TEL 03-5253-7529（直通）

令和2年7月15日
 消 防 庁

「ハローキティ」と連携した熱中症予防広報の実施

本日7月15日（水）より、子どもから大人まで幅広い年齢層から人気のある株式会社サンリオの「ハローキティ」と連携し、熱中症予防啓発をテーマとした動画を消防庁ホームページにて公開するとともに、全国の消防本部へこの動画を活用し、熱中症予防啓発の強化に取り組むよう呼びかけます。

1 熱中症の発生状況と予防啓発の取組

消防庁では、毎年全国の消防本部を対象に熱中症による救急搬送人員の調査を実施し、その数値を公表しています。令和元年度5月から9月までの全国の熱中症による救急搬送人員の合計は71,317人で、調査開始以降、過去最多を記録した平成30年度に次いで2番目に多い救急搬送人員でした。

こうした中、消防庁では熱中症予防啓発の各種コンテンツを消防庁ホームページに掲載するほか、ツイッターによる注意喚起や消防本部に対する熱中症予防啓発活動の強化を呼びかけるなど熱中症予防啓発を推進しています。

2 「ハローキティ」と連携した広報のねらい、内容について

今回作成した動画は、7月15日（水）から9月15日（火）まで消防庁ホームページやYouTubeで配信するとともに、全国の消防本部へ動画を活用した熱中症予防啓発の強化を呼びかけます。また、これらを通じ、国民の皆様の熱中症予防への啓発喚起を図ることを目的としています。子どもから大人まで幅広い年齢層から人気の「ハローキティ」と連携することで、より多くの皆様に熱中症予防の大切さをお伝えすることができればと考えています。

動画 URL : <https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html#heatstroke04>



FDMA
 住民とともに Fire and Disaster Management Agency

総務省消防庁

HELLO KITTY

【問合せ先】

消防庁 救急企画室 神谷・増田・吉岡

T E L : 03-5253-5111

F A X : 03-5253-7531

1 これまでの消防庁における熱中症予防啓発広報

- 救急搬送人員の調査と公表
- 消防庁特設ホームページ等を通じた予防のための普及啓発
 (※ Twitter、ポスター、車両用シート、ビデオ、イラスト、メッセージ、リーフレット、取組事例集)



2 人気キャラクター「ハローキティ」と連携した動画での広報

(1) 背景と目的

- 今年度は、熱中症予防対策に、新型コロナ対策の要素を含めた対応が必要。
- 今回新たなツールとして、子供たちを中心とした幅広い年齢層から親しまれている「ハローキティ」と連携し、国民の熱中症予防についての関心を高める効果的な広報を実施。

○イメージ



(2) 内容

- 約1分間の動画を消防庁特設ページ、YouTubeで公開。
- 新しい生活様式において、適宜マスクを外す熱中症予防行動を追加。
- その他、従来からの「部屋の温度をチェック、エアコンや扇風機を上手に使う」「水分補給」といった内容と一緒に構成。

(3) 動画公開期間

- 熱中症予防強化月間と中心として、
7月15日(水)から9月15日(火)まで公開(予定)。

動画URL : <https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html#heatstroke04>



事務連絡

令和2年7月3日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 熱中症予防対策担当部（局） 御中

環境省大臣官房環境保健部環境安全課

「新しい生活様式」における熱中症予防行動について（周知依頼）

平素より熱中症対策の推進につきましては格別の御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」における熱中症予防に関しては、令和2年5月26日付の事務連絡「令和2年度の熱中症予防行動について（周知依頼）」で周知を御願いしていたところですが、今般、別添の通りマスクについて詳しく記載したリーフレットを作成いたしましたので、関係者に周知いただくとともに広く普及啓発に御活用いただきますようお願い申し上げます。

（参考）

下記サイトにて別添のリーフレットの色違いを含む、各種普及啓発資料や全国の暑さ指数（WBGT）を提供しておりますので御活用下さい。

環境省熱中症予防情報サイト <https://www.wbgt.env.go.jp/>

《本件照会先》

担当課室	環境省 大臣官房 環境保健部環境安全課
担当者名	福嶋、石橋
TEL	03-5521-8261
FAX	03-5580-3596
e-mail	netsu@env.go.jp

熱中症予防 × コロナ感染防止で

「新しい生活様式」を健康に！

「新しい生活様式」とは：新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である ①身体的距離の確保
②マスクの着用 ③手洗いの実施や「3密（密集、密接、密閉）」を避ける、等を取り入れた日常生活のこと。

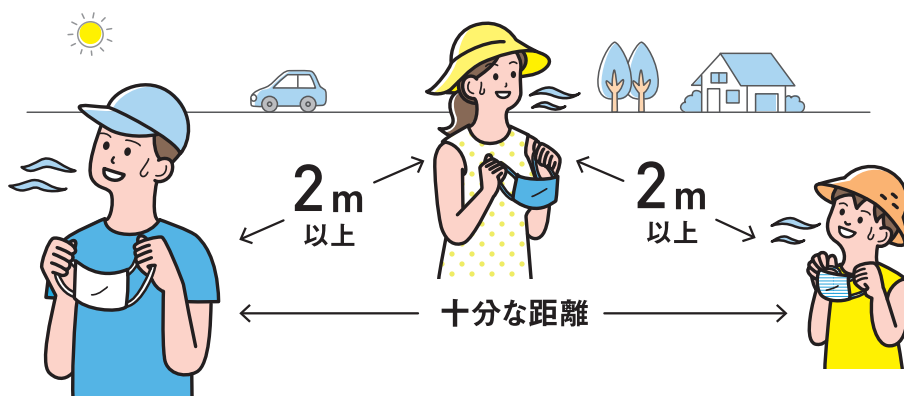
注意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まります

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。



熱中症を防ぐために マスクをはずしましょう

ウイルス
感染対策は
忘れずに！



屋外で
人と2m以上
(十分な距離)
離れている時

マスクをしてると
熱中症になりそう...

..... (マスク着用時は)



激しい運動は避けましょう

のどが渇いていなくても
こまめに水分補給をしましょう



気温・湿度が高い時は
特に注意しましょう



暑さを避けましょう

- ・涼しい服装、日傘や帽子
- ・少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- ・涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ



のどが渇いていなくても こまめに水分補給をしましょう



1時間ごとに
コップ1杯

入浴前後や起床後も
まず水分補給を

ペットボトル
500mL 2.5本

・1日あたり
1.2L (1.2ℓ)を目安に



コップ約6杯

・大量に汗をかいた時は**塩分**も忘れずに

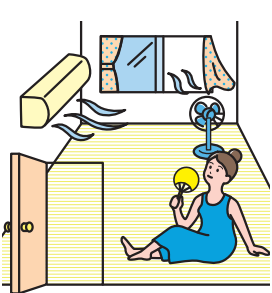


エアコン使用中も こまめに換気をしましょう

(エアコンを止める必要はありません)

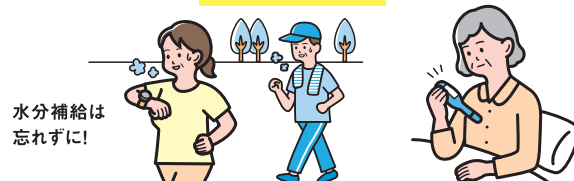
注意 一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません

- ・窓とドアなど**2か所**を開ける
- ・扇風機や換気扇を併用する
- ・換気後は、エアコンの温度を**こまめに再設定**



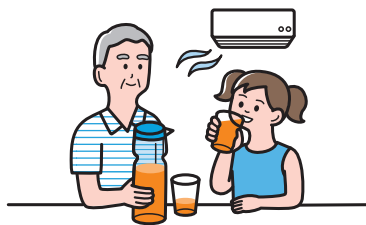
暑さに備えた体づくりと 日頃から体調管理をしましょう

- ・暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で**適度に運動**(「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で**毎日30分程度**)
- ・毎朝など、**定時の体温測定**と**健康チェック**
- ・体調が悪い時は、無理せず**自宅で静養**



水分補給は忘れずに!

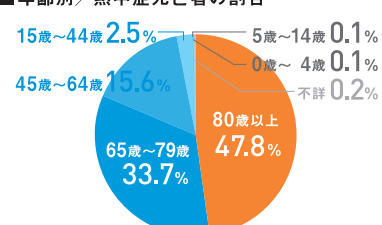
知っておきたい 熱中症に関する大切なこと



**熱中症による死亡者の数は
真夏日(30℃)から増加
35℃を超える日は特に注意!**

運動は原則中止。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動してください。

■年齢別／熱中症死亡者の割合

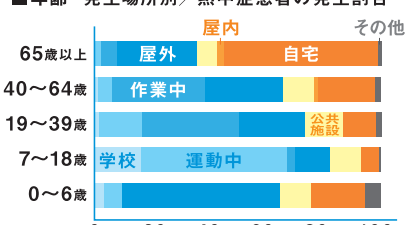


出典:「熱中症による死亡数 人口動態統計2018年」厚生労働省

**熱中症による死亡者の
約8割が高齢者**

約半数が80歳以上ですが、若い世代も注意が必要です。

■年齢・発生場所別／熱中症患者の発生割合



出典:「救急搬送データから見る熱中症患者の増加」国立環境研究所 2009年

**高齢者の熱中症は
半数以上が自宅で発生**

高齢者は自宅を涼しく、若い世代は屋外での作業中、運動中に注意が必要です。

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。
周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。